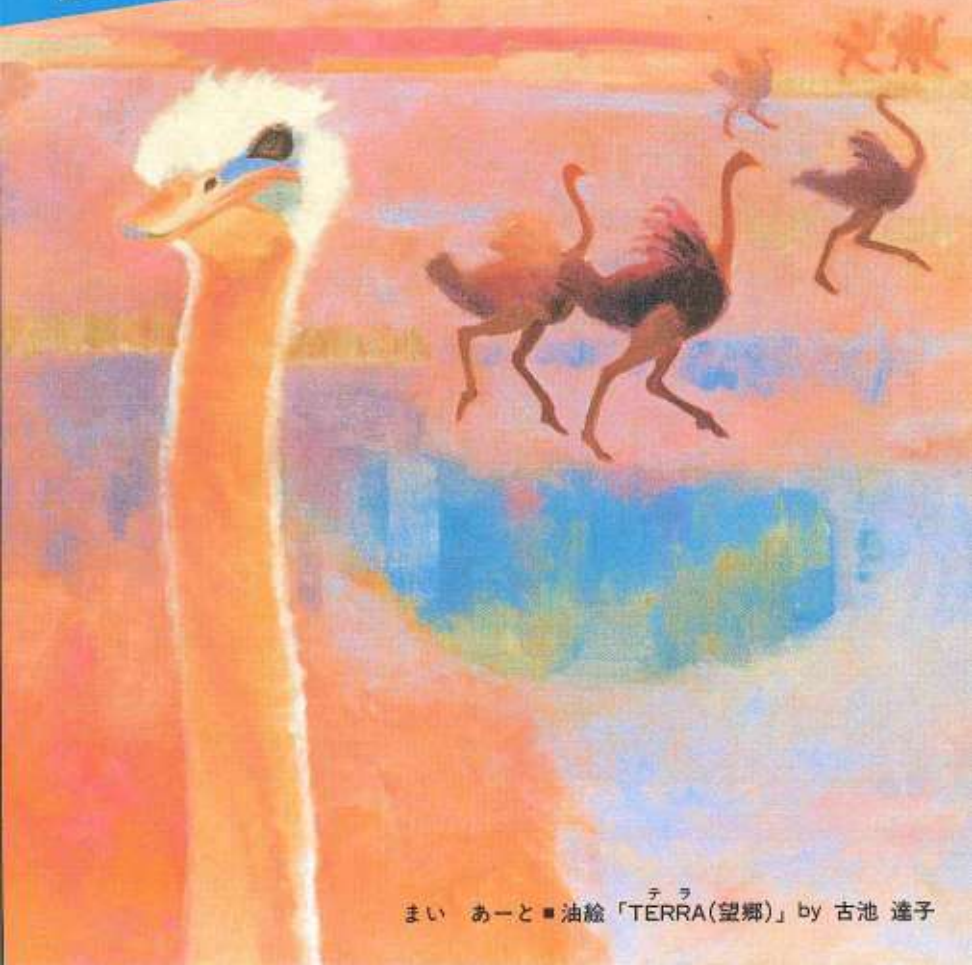
〈EKUTEBIAN VOL.14 JULY 1996 EKUTEBIAN〉

まい　あーと■油絵「TERRA（望郷）」by 古池 達子

東京の滝 ⑥

奥多摩町・魚止の滝

JR奥多摩駅より日原街道へ。途中、倉沢橋から林道を2キロほど上ったところ、都下でも数少ない岩魚の棲む日原水系・倉沢谷の上流部に「魚止の滝」はある。大小3段19メートルからなる滝は、静かな谷に水音を響きわたし、かすかな木漏れ日をうけて踊り落ちる水飛沫が盛夏を告げる。「いかなる魚もこの滝は遡れまい」と名付けられたのであろうが、すれ違う釣師はさらに上流をめざすのである。

日原街道の終点に日原鍾乳洞がある。その昔、修験道の霊場であった一石神社の御神体として鍾乳洞は祀られていた。

えくてびあんレポート

ホップ ステップ ダンス

カラフルなコスチュームに身をつつみ、
軽快なリズムにのってステップを踏む人・人・人。
6月2日、立川市柴崎市民体育館の会場には
1000名をこえる人たちが集い、
第24回東京都民スポーツダンス大会が開かれた。
ワルツ、ルンバ、チャチャチャにタンゴ、
ペアの息もぴったりのダンスに声援がとびかい、
会場はひととき歓声と熱気につつまれた。

会場の熱気もさめやらぬなかでの表彰式。拍手を送る人も送られる人もその笑顔は爽やか。

歴史の重さ、三冊

期せずしてほぼ同時期に立川にまつわる歴史を記録した3冊の本が上梓された。太平洋戦争中におこなわれた建物の疎開についての本『立川の建物疎開の記録』、立川基地拡張工事に対する反対運動を記録した写真集『砂川闘争の記録』そしてもう1冊は古くからこの立川で生花店を営まれている三田鶴吉・實子夫妻の自分史ともいうべき『ゆきつ戻りつ』。この3冊の中におさめられた歴史は立川がどんな街として歩んできたかを知る良い手掛かりになるはず。ファーレやモノレールといった新しい街づくりの話題で賑わう立川のこれからを考えるとき、今一度立川の歴史に眼をむけ、立川に生きてきた人たちの声に耳を傾けてみたい。

立川の建物疎開の記録（立川市教育委員会発行）

これまでにも立川の歴史に関する本をまとめてこられている、立川市歴史民俗資料館嘱託職員の小沢長治さんが〝建物疎開〟というちょっと聞きなれない言葉をキーワードにして当時を知る人の話や写真、地図等の史料を交え、52年前の立川を浮き彫りにしている。太平洋戦争も終わりに近づき敗戦色の濃くなっている状況の中、交通の要衝であり、また航空技術などの軍事施設を持つ立川を空襲による火災から守らなければならなかった。そこで行われたのが北口駅前付近の建物の疎開。「戦争は、多くの人の生活を破壊し人生を狂わせた。建物の疎開に該当した人の人生も52年前の夏、大きく変転したのであった。

学童疎開については、全国的に見てもほとんど記録がない。今が体験者からの話を聞ける最後の時期なので、立川の昭和史の一事実としてこの記録をまとめた」「立川では現在、21世紀に向けての街づくりが進んでいるが、建物疎開はその原点になったといえるだろう」と小沢さんは語る。当時を知り、立川で暮らしてこられた人たちが語るお話は、史料的な意味ばかりではなく立川を知るための読みものとしても良いのではないだろうか。

写真集『砂川闘争の記録』（けやき出版）

「砂川闘争を直接知る生き証人がいなくなる前に記録に残しておこう」と企画されたこの写真集はモノクロの写真213枚で構成されている。昭和30年、立川基地拡張計画に対して反対をとなえる地元砂川の農民たちが起こした〝砂川闘争〟。編集を手掛けられた上砂町で豆腐店を営まれる星紀市さんの手元にも写真集の企画当初は昭和30年当時の写真が一枚も残っていなかった。そこで写真の提供を新聞で呼びかけたところ、25名の方からの申し出があったという。「この写真集の写真は、すべて当時撮影された人々の提供されたもので

あり、買った写真は一枚もない。これほど多くの写真が提供されたことは、私と同じように、皆さんがこの闘いを後世に伝えたいと思ったに違いないと思っている」と星さんはいう。

報道される砂川闘争からは警官隊との激しい衝突など緊迫した光景を連想しがちだが、そういった写真ばかりではなく、地元の子供たちの写っているものや皆でアコーディオンに合わせて合唱しているところなどほのぼのとするような写真も収められている。それぞれの写真からは草の根の人たちの息づかいが聞こえてきそうだ。

ゆきつ戻りつ（けやき出版）

「立川の住民票をいただいてから50年がたちます」と先日おこなわれた叙勲祝賀パーティーで話されていた三田鶴吉さん。古くからこの立川で生花店をされるかたわら福祉や文化活動にも精力的に取り組まれてきた。多摩川のことや立川基地のこと、交友のあったたくさんの人とのエピソード、妻である實子さんが綴られた三田花店の変遷など、ご夫妻の今日までの歩みがそのまま記されている。

〝序にかえて〟の「ゆきつ戻りつ」と題されたなかに

ゆきつ戻りつ
人生なんて
雪の上の
すぐ消える
足跡のようなものだ
〔中略〕
これまでに
ご恩になった方々のことや
わたしたちなりに学んだいくつかを
写真を交えて書き残して置きたい
そう考えた所以である。

と結んでいる。

身の回りの人や自然そしてこの立川に注がれる三田さんの眼差しは温かい。三田さんご夫妻の〝半世紀〟の足跡が飾らない物静かな語り口で綴られている。

かつて建物疎開が行われた立川の空には日本の戦闘機が飛び、そのあと同じ空に星条旗が翻り砂川闘争が起こった。そして立川基地返還のとき立川飛行機への想いからアメリカ軍指令官に星条旗をくださいといった三田さん。この3冊の本のページをめくると立川が基地の街であったことと共にそこに生きる人、または生きた人たちの積み重ねてきた歴史から〝熱〟のようなものを感じることができる。新しい立川の街をつくっていく原動力はこの3冊の中にある立川人たちの〝熱〟のようなものではないだろうか。

一本の山ザクラと共に

立川自然観察友の会　鈴木　功

（前号からの続き）周りの方々も大変親切にしてくれるので有難いことだ。さて白寿の内祝いの記念品についていろいろ考えたがやはり父の肉筆の色紙を書き残してもらうのが一番記念になると思い「耕心田」なる言葉を拝借させてもらうことにした。『大地が五穀を生み、心は善悪を生む。心地を耕し、心田を耕すとは世尊の訓えである。人をいつくしむ心、思いやりの心をもった、豊かな心の持ち主になりたい。それは自己をみつめ、心を育てることによってはじまる』この言葉は父に、少なからずとも相通ずるような気がしてならない。

ちょっと前のことであるが、私の先輩で、友人でもある方に父の近況について話したことがあった。彼は父の誕生日を手帖に記入し、その後、合うごとに手帖を示して「満九十九才」の白寿を元気で迎えること、もう「百才でいいじゃないか、百才になったと言った方がいいよ、昔流に数えて…」と彼は何回も言った。

元気で一世紀、百年を生きつづけること、皆んなに親しまれ、尊敬されてここまで来ると言うことは誰にでも出来ることではないと家族共々深く深く感動するところである。

父は特に寝込むと言うような姿を今だかって見たことはない。風邪を引いたこともない。昔は農作業で酷使した体だったそうであるが、それがかえって丈夫な体を作ったのだろうか。今、父は杖を使わなくては歩けない。それは十数年前、ころんで膝をやられた後遺症で腰が自由にならない。若し再度ころんだら、今の年令だと骨折するので歩行には特に注意しているようである。でも一度畑仕事や薪割りや出荷用の切花まるきなど作業は大変手ぎわよく、若い者には真似が出来ないと周りの人は感心することが多い。父にあやかりたいと言う人がよく畑にやってくるのも父にとってはかえってはげみであろう。

耳は遠くなったが、3年ほど前白内障の手術をしてから新聞など目がねをかけずに読み、世の中が明るくなったと喜んでいた。歯も半分以上は自分の歯、焼き魚など頭からバリバリ食べるのには驚きだ。知人から手紙が来ると必ず返事を出すのが父の性分だ。もう十年も前のことだが近くの小学校で、「昔のはなし」を3年生に聞かせたことがあった。この話は評判がよかったので文集になったが、その時から一人の少女が毎年父に手紙を書いてよこす。勿論父も返事を出す。その子はもう高校生となり去年の夏休み、家にわざわざ尋ねて来たのにはびっくりしたと言うより父は大変喜んだ。彼女もてれくさそうで余りしゃべらなかったが、父にこんなに若いガールフレンドがいるのがうらやましい位である。いつまでも父を慕ってもらいたいものだ。

さて長生きの秘訣はとよく聞かれる、父言く、①働くこと即ち動くこと（動くこと）②好き嫌いなく何でも食べること。③くよくよしないこと。④唯自然に従って生きること…などである。と。

えくてびあんエッセイ●No.41

えくてびあんの輪

人がいて、街があります。
あなたがいて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも えくてびあん！

町	店名	住所	電話
羽衣町	立川商店	羽衣町2-30	☎22-3565
羽衣町	おそのい時計店	羽衣町2-32-2	☎22-5211
羽衣町	赤松タバコ店	羽衣町2-42	☎24-7852
羽衣町	中島豆腐店	羽衣町2-12-34	☎22-5723
羽衣町	和風レストラン 蔦屋	羽衣町2-27-9	☎26-3698
栄町	さくら	栄町2-46-3	☎36-8285
栄町	永光薬局	栄町2-58-7	☎36-0206
栄町	メンズカット ヤザワ	栄町2-59-8	☎36-6716
錦町	うちのやブルマン	錦町1-18-17	☎24-9280
錦町	美容室 アリス	錦町1-15-21	☎25-1100
錦町	coffee shop 遊香	錦町1-4-24	☎27-3840
錦町	ステーキのリブレ	錦町1-8-3	☎27-1630
錦町	寿屋酒店	錦町2-1-13	☎22-3625
錦町	TAPAS	錦町2-2-29	☎29-0733
錦町	三田花店	錦町2-5-23	☎24-4187
錦町	セガミ薬局	錦町2-7-8	☎25-9212
錦町	マルミヤスポーツ	錦町2-7-8	☎22-2912
錦町	そば 高尾亭	錦町5-5-31	☎22-2710
幸町	BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2	☎37-0912
幸町	いなげや 立川幸店	幸町1-23-6	☎37-1820
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
高松町	洋菓子 マリアン	高松町2-10-22	☎24-3912
高松町	横町屋菓子店	高松町2-11-23	☎22-2609
高松町	新藤青果店	高松町2-3-13	☎22-6443
高松町	スーパー やなぎや	高松町2-5	☎22-4322
高松町	フレンド書房	高松町3-18-2	☎27-1555
高松町	山梨中央銀行 立川支店	高松町2-16-13	☎26-1571
高松町	CAFE-RESTAURANT TIP-TOP	高松町3-27-27	☎25-2030
砂川町	東京靴流通センター	砂川町1-50-4	☎37-3641
砂川町	JA経済センター 立川店	砂川町2-44-3	☎36-1824
砂川町	JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3	☎36-1821
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	中華料理 みよし	柴崎町2-10	☎25-3873
柴崎町	石原薬局	柴崎町2-10-3	☎23-4067
柴崎町	輪輪館	柴崎町2-12-17	☎22-8100
柴崎町	㈲関田酒店	柴崎町2-2-17	☎24-2960
柴崎町	寿司由	柴崎町2-2-8	☎22-3733
柴崎町	ブティック リッチ	柴崎町2-3-10	☎28-2054
柴崎町	キャノン01ショップ	柴崎町2-3-6	☎28-1501
柴崎町	マイシティハウス 立川南口支店	柴崎町2-3-6	☎26-0148
柴崎町	カフェレストラン ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎26-2232
柴崎町	ファッションハウス ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎25-2788

町	店名	住所	電話
柴崎町	ぼだい樹	柴崎町2-4-18	☎28-0556
柴崎町	コマツホーム	柴崎町2-4-6	☎25-5811
柴崎町	喫茶 キャリー	柴崎町2-4-7	☎28-2630
柴崎町	かみゆい処 わ	柴崎町2-4-8	☎22-8202
柴崎町	芹沢ガラス店	柴崎町2-4-8	☎22-3065
柴崎町	小室園	柴崎町2-4-8	☎22-2894
柴崎町	ユウ都市企画	柴崎町2-3-13	☎28-2556
柴崎町	マエダ文具	柴崎町2-6-2	☎25-6584
柴崎町	くりや	柴崎町2-9-3	☎23-2590
柴崎町	立川高等技芸学院	柴崎町2-9-4	☎22-3424
柴崎町	ブックスしんあい	柴崎町3-1-1	☎27-6701
柴崎町	松山堂薬局	柴崎町3-13-25	☎22-2550
柴崎町	こむろ酒店	柴崎町3-14-3	☎22-2613
柴崎町	ゴンファノン・クボ 立川店	柴崎町3-4-2	☎27-7413
柴崎町	かつ亀	柴崎町3-5-2	☎25-7647
柴崎町	京樽 立川南口店	柴崎町3-6-2	☎21-4640
柴崎町	理容 ふなやま	柴崎町3-6-23	☎27-2780
柴崎町	多摩中央信用金庫 南口支店	柴崎町3-7-4	☎28-2211
柴崎町	オリオン書房	柴崎町3-6-27	☎25-3111
柴崎町	和光証券 立川支店	柴崎町3-8-2	☎24-1321
若葉町	紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2	☎36-1604
若葉町	ふとんの 青木寝商	若葉町1-8-1	☎36-6833
若葉町	エッソ石油 けやき台ステーション	若葉町2-1	☎35-3081
若葉町	いなげや 若葉町店	若葉町3-21-1	☎37-4119
曙町	ルミネ立川店 1F受付	曙町2-1-1	☎27-1411
曙町	お菓子の家 エミリーフローゲ	曙町2-4-28	☎27-4138
曙町	アルビヨン	曙町2-4-28	☎25-3824
曙町	café バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	パティスリー バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	ロッテリア 立川ルミネ店	曙町2-1-1	☎24-7433
曙町	住友銀行 立川支店	曙町2-17-15	☎22-6171
曙町	喫茶 アバン	曙町2-17-15	☎27-4479
曙町	日の出屋 本店	曙町2-2-18	☎22-3308
曙町	多摩中央ミサワホーム	曙町2-8-29	☎27-3388
曙町	富士銀行 立川支店	曙町2-4-6	☎24-3121
曙町	あら井鮨 総本店	曙町2-5-12	☎22-2957
曙町	二木のパン	曙町2-6	☎22-2278
曙町	三上鰹節店	曙町2-8-30	☎22-3259
曙町	ホワイトハウス フロム中武	曙町2-11-2	☎25-8558
曙町	ぱさーじゅ フロム中武	曙町2-11-2	☎22-1941
曙町	フロム中武 1F受付	曙町2-11-2	☎24-7111
曙町	ケンタッキーフライドチキン 立川支店	曙町2-12-16	☎28-2636
曙町	トポス 立川店	曙町2-18-18	☎25-0331
泉町	パットパットゴルフ	泉町	☎25-2340
富士見町	リーセントパークホテル	富士見町2-1-8	☎26-3111

表紙は語る

まいあーと 油絵 『TERRA（テラ）』（望郷） by 古池達子

生き物が好きでその中でもダチョウがお気に入りだという栄町にお住まいの古池さんは油絵をはじめて22年になる。キャンバスのうえに登場するものもやはり動物が多く、その思い入れも深い。ご自宅の庭にまかれた餌を小さな野鳥が飛んで来てついばむ。誰に頼ることなく生きる野生動物の姿は美しく見えるという。今回の作品のタイトルである「テラ」とは土や大地といった意味のラテン語。人間によって少しづつすみかを追われていく動物たちを描きたかったのだという古池さんは絵をとおして環境のことなどに興味を持つ人が少しでも増えてくれたらとも語る。アメリカのボストンにある大学で環境学を学んだ娘さんと動物たちの目線で地球を眺めながら古池さんは絵を描きつづけていくのだろう。

真如苑だより

はっきりしない天気にも日毎に増してくる暑さに盛夏の到来が近いことを感じます。七月二十日は「海の日」。いよいよ夏本番を迎え、海や山は人でにぎわう季節に。蒸し暑い午後のひととき、真如苑に涼みにいらっしゃいませんか。お待ちしております。

■日時　7月15日(月)　2時～4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

東風

三田鶴吉さんが春の叙勲で勲五等双光旭日章を受章された。真におめでとうございます◆今回の叙勲は本業の生花業での功績によるものであると聞いた。三田さんは日本生花商協会前会長、いわゆる「花キューピット」で知られる日本生花通信配達協会前常務理事などを歴任。まさに業界に大きく貢献された方。だが、われら立川人にしてみると、立川の「顔」としての三田さんの表情がまず浮かぶ。立川観光協会々長、立川市文化財保護審議会委員長、クリーン多摩川実行委員長など活躍のフィールドは広く、深い◆三田さんご自身から、こんな話を聞いたことがある。例えば立川駅の北口や南口でティッシュペーパーが配られる。広告が目的だが、急いでいたり、邪魔くさかったりで、つい掌を横にふってしまう場合がある。三田さんはどんな場合でも、顔面の前で掌を横にふることはしないという◆昭和二六年、三田花店はリヤカーの引き売りからの出発であった。花はいかがかとひと様にすすめて、断られた時がしばしばあった。特に、鼻先へ掌をもってきて左右にふる動作は身にこたえたという。三田さんは相手がどんな人であろうとも、そういう仕種はしないという。叙勲という大きな受章にはふさわしくない小さなエピソードだが、ひとを思いやる三田さんを語ってはいよう。◆紫陽花や　岩割れ新色　えくてびあん

（編集）池田隆男　中田彰一　小杉和己　小林康史　鴨川 理　名尾居真　岩井正弘　町田健一　山田恵子　松本わかこ
（写真）天野武男　板橋一明　井上義治　スタジオ269　中村 伸　五来孝平

月刊えくてびあん　第144号
平成八年七月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　〒190
電話　〇四二五（28）0082
FAX　〇四二五（28）1297
編集発行人　立井啓介
印刷所　㈱大廣社

ウォッチング

呼び水

上水道が家庭に普及する以前、地下水を汲み上げるポンプといえば、手漕ぎポンプがごく一般的であった。路地の井戸を囲み、大人から「呼び水」を教えられて初めて水を漕ぎ出した時のうれしさは一入であった。そして時代が街中から手漕ぎポンプが消して久しいが、今も活き続けているポンプがあった。ある寺院の水汲み場に新型のポンプがある。しかし、「呼び水」を差す口が無い。すでに「呼び水」という言葉が死語となってしまったのか、便利さの影で消えていく言葉の嘆きが聴こえる。

WATCHING

多摩最大の店舗網
みなさまの暮らしやニーズに合わせて、幅広いサービスにつとめています。
多摩のマイバンク たましん 多摩中央信用金庫
本店 〒190 立川市曙町2-8-28 ☎（0425）26-1111（代）

最終回

多摩川の朝

11

写真：鈴木克吉
俳句：谷口ゆり女

明け易し
多摩大橋の
灯を残し